

多摩だるまとホン
ドタヌキを合わせた
愛らしい形



好奇心いっぱいのくり
くりの種

頭には瑞穂町で有
名な植物(シクラメ
ン・カタクリ・ニリンソ
ウ・狭山茶)を使った
花冠をしています。

みずほまる
いーいーいー

体の色はカタクリの
鮮やかな薄むらさき
色とシクラメンの
薄桃色で彩られてい
ます。



ジャンボポケ

みずほエコパーク
四季折々の花(サクラ、ボケ、ユリ、ヒマワリ、彼岸花等)を楽しむことができます。中でも、春に咲くジャンボポケ、シダレザクラが見事です。広々とした芝生、ドッグラン等もあります。東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎1736 TEL.042-557-5364



瑞穂町郷土資料館「けやき館」
瑞穂町の歴史や文化、自然について、見て触って楽しく学ぶことができます。伝承の広場の大ケヤキとニホンオオカミ像がシンボルです。東京都西多摩郡瑞穂町大字駒形富士山316-5 TEL.042-568-0634



耕心館 お食事どうぞ
1階には食事を楽しめる喫茶店、2階にはサロンコンサートや展示会に利用される大広間があります。庭園では100種類以上の山野草を楽しむことができます。東京都西多摩郡瑞穂町大字駒形富士山317-1 TEL.042-568-1505



六道山公園
展望塔
富士山階段

**都立野山北・六道山公園西口
~六道山公園(約2.5km)**
狭山丘陵の西端に位置し、雑木林と谷戸が織りなす里山の豊かな自然環境を保全している公園を散策するルートです。都立野山北・六道山公園西口から富士山階段を登り、浅間神社から尾根沿いの道を進み狭山懸橋を渡ると、桜の名所でもある六道山公園です。



交通のご案内
電車
新宿駅からJR中央線「立川駅」経由 -JR青梅線「拝島駅」乗換-JR八高線「箱根ヶ崎駅」下車 徒歩約15分 (所要時間: 約1時間)
車
中央自動車道「八王子I.C.」より約12km
圏央道「青梅I.C.」より約3.5km

さやま花多来里の郷(入園無料・駐車場あり) 東京都西多摩郡瑞穂町大字駒形富士山243番地1
開園時間 午前9時~午後5時まで 問合せ 瑞穂町 都市整備部 建設課 TEL.042-557-7659

●カタクリの見頃● 3月中旬~4月上旬
※開花情報イベントの詳細は「瑞穂町観光情報サイト」で確認できます
瑞穂町観光情報サイト <http://www.ittenbee-tokyoumizuho.jp>

ようこそ さやま花多来里の郷 都内随一のカタクリ群生地

みずほ春まつり会場です

さやま花多来里の郷

桜の名所
カタクリの花が咲くころ、瑞穂町の桜もちょうど見頃を迎えます。カタクリ観賞の際、ちょっと寄り道してみませんか。

高さ5メートル!
ジャンボ「ボケ」

入口案内図

さやま花多来里の郷までのルート(箱根ヶ崎駅から徒歩10分程度) ●箱根ヶ崎駅東口▶信号機を左折▶都道166号線を北上▶都道5号線(青梅街道)との交差点(箱根ヶ崎)を直進▶箱根ヶ崎交差点から2つ目の信号機、歩道橋のかかる交差点を左折▶狭山神社の鳥居を右手に見ながら道なりに進む▶Y字路を右手方向へ▶次のY字路も右手方向へ▶右手に入口が見えます

案内看板(花多来里の郷)
案内看板(エコパーク) P 駐車場
だれでもトイレ トイレ

防衛省からの特定防衛施設周辺整備調整交付金で整備しました。

鉄道 各方面から箱根ヶ崎駅へのアクセス

東京方面ルート	神奈川方面ルート	埼玉方面ルート	山梨方面ルート
新宿 - JR中央線 - 立川 - JR青梅線 - 拝島 - JR八高線 - 箱根ヶ崎	相模原 - JR横浜線 - 八王子 - JR八高線 - 箱根ヶ崎	川越 - JR川越線 - 高麗川 - JR八高線 - 箱根ヶ崎	甲府 - JR中央線 - 高尾 - JR中央線 - 八王子 - JR八高線 - 箱根ヶ崎

10th ANNIVERSARY

かたくりさと
さやま花多来里の郷
20万株のカタクリの群生地

幻の白いカタクリ
約1万株に1株!!

10周年記念イベント
令和8年3/29日
同日にみずほ春まつり開催

東京都瑞穂町
TOKYO MIZUHO

みずほまる

カタクリってどんな花？

カタクリ

ユリ科カタクリ属
花言葉：初恋・寂しさに耐える・嫉妬
花期：3月中旬～4月上旬

カタクリは山地や丘陵に自生するユリ科の多年草です。早春に10cmほどの花茎を伸ばし、薄紫色の花を先端に一つ下向きに咲かせます。地上に姿を現わす期間は4～5週間程度で、花を咲かせた後、葉や茎は枯れてしまうため「スプリング・エフェメラル」(春の妖精)と呼ばれています。



▲自然の中で育ち、守られてきたカタクリ。20万株の群生は斜面一面を覆いつくすほどの絶景です。

◀カタクリの花は写真のように花びらが開き反り返ります。※雨の日等は花が閉じることがあります。

春 さやま花多来里の郷で 夏 見られる花等 秋 冬

春 3～5月



チゴユリ

和名の由来は、小さくて可愛らしいことから「稚児ユリ」。高さ15から30cmの多年草で、茎の先端に1cmほどの小さな白い花を一つ咲かせます。



ミツバツツジ

枝先に3枚の葉をつけることからこの名がつけました。尾根や岩場、里山の雑木林などに自生し、4～5月頃に紅紫色の美しい花を咲かせます。



ヤマツツジ

日本の野生ツツジの代表種で、北海道南部から九州まで、分布域がもっとも広いのがこのヤマツツジです。多くは朱色の花を咲かせます。



コブシ

最大20m程にも達する落葉性の樹木で、6枚の花びらの大きな白い花をたくさん咲かせます。果実の握りこぶし状のデコボコが名前の由来です。

他 タチツボスミレ、クサイチゴ、モミジイチゴ、ウグイスカグラ、ウワミズザクラ、ヤマザクラ

夏 6～8月



ヤマユリ

花の大きさは直径20cm以上にもなりユリ科の中でも最大級、その重みで全体が傾くほど。花の香りは甘く濃厚でとても強いのが特徴です。



ギボウシ

つぼみが擬宝珠(ぎぼうしゅ)に似ていることから転訛しその名がつけました。漏斗型の白色または淡紫色の花をやや下向きに咲かせます。



オカトラノオ

花期は6月から7月頃。白色の小さな花を茎の先に総状につけ、花穂の先端が虎の尾のように垂れ下がることから「丘虎の尾」と名付けられました。



コアジサイ

通常のアジサイよりも少し早い時期に咲き、装飾花がなく普通花だけからなります。花の色は薄い青色からだんだん白色に変化していきます。

他 ヤマホトギス、ヤマアジサイ、ノリウツギ

秋 9～12月 冬 1～3月



オミナエシ

漢字では「女郎花」と表記し、十五夜に飾る秋の七草の一つです。小さな黄色い花をつけ、万葉の昔から、前栽、切花、漢方などに用いられてきました。



フクジュソウ

春を告げる花の代表で、福寿草という名には新春を祝う意味があります。花弁に当たる日光の熱で虫を誘うので、日照に応じて花が開閉します。



モミジ(紅葉)

イロハモミジ、ヤマモミジ等の多くの品種を見ることが出来ます。紅葉の見頃は11月から12月。



ウメ

起源は奈良時代以前、遣唐使が葉木として中国から日本に持ち帰ったものと言われています。日本の風土によく合い、平安時代に広く普及しました。※諸説あります。

他 ヒガンバナ、コウヤボウキ、ヤマジノホトギス

他 カンアオイ

カタクリの生活史

カタクリは種から発芽し、土壌に根付いてから花を咲かせるまで7～8年程度かかります。個体が大きく成長した後は複数年に渡り開花が継続し、平均寿命は40～50年ほどと推定されています。



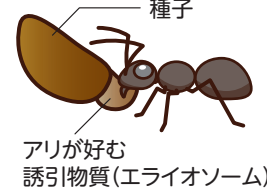
幻の白いカタクリ

さやま花多来里の郷では、数万株に1株と言われている幻の白いカタクリが園路近くに花を咲かせることもあります。ぜひ探してみてください。



種子を運ぶアリたち

種子に付着している「エライオソーム」という成分にアリが誘発され、種子はアリの巣がある遠くまで運ばれます。



さやま花多来里の郷 園内図

3,000㎡の斜面一面に、20万株が咲き誇る！
都内随一のカタクリ群生地



利用上の注意

- バイク・自転車は進入禁止です。
- テラス・一方通行園路内はペット禁止です。
- 火を使ってはいけません。
- 草花は抜かないでください。
- 園路以外には立ち入らないでください。

観賞デッキ「宮崎テラス」

再生木材を使用したウッドデッキです。40年程前から下草刈り等の手入れを続けて20万株のカタクリ群生地にした、前所有者の宮崎家に敬意を込めて名付けられました。

